



平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場会社名 株式会社オウケイウェイヴ 上場取引所 名
 コード番号 3808 URL http://www.okwave.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)兼元 謙任
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)野崎 正徳 (TEL)03(5793)1195
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年6月期第1四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	582	△16.5	21	—	24	—	21	—
27年6月期第1四半期	698	△13.8	△54	—	△22	—	△30	—

(注) 包括利益 28年6月期第1四半期 19百万円 (—%) 27年6月期第1四半期 △29百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年6月期第1四半期	2	48	2	47
27年6月期第1四半期	△3	54	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	
28年6月期第1四半期	1,646	79.3	1,315	79.3	
27年6月期	1,688	75.9	1,291	75.9	

(参考) 自己資本 28年6月期第1四半期 1,306百万円 27年6月期 1,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
27年6月期	—	0 00	—	0 00	0 00	0 00
28年6月期	—	—	—	—	—	—
28年6月期(予想)	—	0 00	—	0 00	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	1,180	△15.7	15	—	15	—	5	—	0	57
通期	2,500	△8.7	100	629.0	100	110.2	70	228.9	8	04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

- 新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期1Q	8,723,000株	27年6月期	8,703,000株
28年6月期1Q	60株	27年6月期	60株
28年6月期1Q	8,711,527株	27年6月期1Q	8,698,940株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 全般的概況

当第1四半期連結累計期間(平成27年7月1日～平成27年9月30日)においては、各サービスともに新規クライアント数や利用者数が堅調に伸張していますが、前期において連結子会社の株式会社ブリックスにて、不採算サービスの営業アウトソーシング事業から撤退したこと、またソーシャルメディア事業において一部企業へのQ&Aデータベースの提供を終了したことにより、売上高は582,817千円(前年同期比16.5%減)となりました。

利益面においては、前期から引き続き、サービスの選択と集中を行ってきたこと、また全社的に人員配置の最適化を図ったことから、各セグメントにおいて利益改善の傾向にあり、営業利益は21,739千円(前年同期54,917千円の損失)、経常利益は24,842千円(前年同期22,027千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は21,567千円(前年同期30,810千円の損失)と各段階利益にて黒字回復となりました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	582,817	△115,523	△16.5
営業利益	21,739	76,657	—
経常利益	24,842	46,869	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21,567	52,378	—

② 事業別概況

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

・ ソーシャルメディア事業の概況

ソーシャルメディア事業では、日本最大級のQ&Aコミュニティ「OKWAVE(オウケイウェイヴ)」のほか、Q&Aから派生した複数のサービスを運営しています。

当期においては、「OKWAVE」の品質向上の一環として、締切済みのQ&Aに感想や補足情報を投稿できるコメント機能を追加したほか、ソーシャル上での拡散促進を図るためにQ&Aシェア数ランキングの提供を開始いたしました。また前期より引き続き、投稿にマッチした広告を配信するターゲティング広告の調整や、広告配信枠の価値を高める営業活動に注力したことから、広告単価が堅調に推移してまいりました。しかしながら一部企業へのQ&Aデータベースの提供を終了したことから、売上高は減少となりました。費用面では全社的に人員配置の最適化を図ったことから、費用圧縮され、黒字を維持する結果となりました。以上の結果、業績は次の通りとなりました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	82,585	△44,322	△34.9
セグメント利益	137	△190	△58.0

・エンタープライズソリューション事業の概況

エンタープライズソリューション事業では、FAQ（よくある質問）を作成、編集、公開する一連の流れを搭載した、特許技術を有するシステム「OKBIZ（オウケイビズ）」など、企業向けのソリューションを提供しています。

当期においては、昨年実施のマーケティング活動が順調に案件化していること、並びに既存顧客の継続率も向上していることから、前年同四半期から39サイトの純増となりました。また製品力や業界シェア率の向上から市場の注目が一層高まり、当社「OKBIZ」を選択いただく機会が増えてまいりました。以上の結果、業績は次の通りとなりました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	307,543	25,906	+9.2
セグメント利益	150,955	38,727	+34.5

・ナレッジマーケット事業の概況

ナレッジマーケット事業では、知識流通という概念で、複数の課金制モバイルサイト等（※）を運営しています。

当期においては、琉球風水志シウマ氏の監修による会員制有料Q&Aサービス「琉球風水術」をリリースしたほか、全国12,000以上のカルチャー教室を掲載している「趣味なび」を運営する株式会社サブレとの資本・業務提携を行いました。しかしながら携帯電話の通信サービスを提供しているキャリア側において、仕様変更及びサイトのプロモーション制限が加わったことにより、auスマートパスやdocomoスゴ得経由の売上高が減少いたしました。費用面においては、効率的に管理・運営できる開発プラットフォームを構築したこと、また広告宣伝費を抑制したことから、コスト削減を実現し、利益は改善いたしました。以上の結果、業績は次の通りとなりました。

（※）スマートフォンや従来型携帯電話向けに提供している課金制サイト

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	32,964	△9,174	△21.8
セグメント損失(△)	△11,535	10,709	—

・多言語CRM事業の概況

連結子会社株式会社ブリックスの事業である多言語CRM事業では、24時間365日体制の多言語コンタクトセンターを運営し、カスタマーサポート業務を提供するとともに、バイリンガルや技術者の派遣等を行っています。

当期においては、近年の訪日外国人観光客の増加を受け、多言語コンタクトサービスへ注力を行ったことから、技術者派遣、一般派遣についてはサービスを抑制いたしました。このことから売上高は減少いたしました。多言語コンタクトサービスは堅調に推移しています。

また前期に不採算事業の整理に伴い、人員配置の見直しを行いました。これによりセグメント利益においては利益改善を図ることができました。以上の結果、業績は次の通りとなりました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	159,724	△55,011	△25.6
セグメント利益	6,116	20,675	—

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(ア)資産

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、主に受取手形及び売掛金の減少により1,646,495円（前連結会計年度末比42,289千円減少）となりました。

(イ)負債

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は、主に買掛金、未払金及び未払費用、未払消費税等の減少により330,674千円（前連結会計年度末比66,866千円減少）となりました。

(ウ)純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、主に利益剰余金の増加により1,315,821千円（前連結会計年度末比24,577千円増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期におけるマーケティング費用等の発生を鑑み、平成27年8月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の項目について簡便な会計処理を適用しておりますが、重要なものではありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	862,630	864,789
受取手形及び売掛金	330,404	267,760
その他	36,404	49,828
貸倒引当金	△1,303	△1,227
流動資産合計	1,228,136	1,181,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	73,446	73,446
減価償却累計額	△52,171	△55,823
建物及び構築物(純額)	21,274	17,622
工具、器具及び備品	366,368	367,188
減価償却累計額	△300,221	△305,187
工具、器具及び備品(純額)	66,147	62,001
有形固定資産合計	87,422	79,623
無形固定資産		
ソフトウェア	31,965	25,807
ソフトウェア仮勘定	13,830	21,210
その他	14,136	13,919
無形固定資産合計	59,933	60,937
投資その他の資産		
投資有価証券	164,046	164,046
その他	212,994	224,218
貸倒引当金	△63,747	△63,482
投資その他の資産合計	313,293	324,782
固定資産合計	460,649	465,343
資産合計	1,688,785	1,646,495
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,008	25,802
未払金及び未払費用	162,614	148,755
未払法人税等	7,165	5,728
短期借入金	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	7,200	7,200
その他	112,535	78,462
流動負債合計	330,524	266,949
固定負債		
長期借入金	30,800	29,000
資産除去債務	32,642	32,682
その他	3,574	2,042
固定負債合計	67,017	63,724
負債合計	397,541	330,674

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	979,635	981,635
資本剰余金	949,435	951,435
利益剰余金	△635,732	△614,164
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,293,300	1,318,868
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△10,871	△12,698
その他の包括利益累計額合計	△10,871	△12,698
新株予約権	8,814	9,651
純資産合計	1,291,243	1,315,821
負債純資産合計	1,688,785	1,646,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
売上高	698,340	582,817
売上原価	451,454	332,808
売上総利益	246,886	250,009
販売費及び一般管理費	301,804	228,269
営業利益又は営業損失(△)	△54,917	21,739
営業外収益		
受取利息	195	153
貸倒引当金戻入額	26,578	341
為替差益	4,064	2,277
雑収入	2,330	721
営業外収益合計	33,168	3,493
営業外費用		
支払利息	277	229
関係会社整理損	—	160
雑損失	0	0
営業外費用合計	278	391
経常利益又は経常損失(△)	△22,027	24,842
特別損失		
固定資産除却損	62	77
和解金	7,000	—
特別損失合計	7,062	77
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△29,089	24,765
法人税、住民税及び事業税	1,522	3,197
法人税等合計	1,522	3,197
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30,612	21,567
非支配株主に帰属する四半期純利益	198	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,810	21,567

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30,612	21,567
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	—
為替換算調整勘定	1,143	△1,827
その他の包括利益合計	1,158	△1,827
四半期包括利益	△29,454	19,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,652	19,740
非支配株主に係る四半期包括利益	198	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソーシャル メディア 事業	エンタープ ライズソリ ューション 事業	ナレッジ マーケット 事業	多言語CRM 事業	営業アウト ソーシング 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	126,908	281,636	42,138	214,736	32,921	698,340	—	698,340
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	750	—	33	—	783	△783	—
計	126,908	282,386	42,138	214,769	32,921	699,123	△783	698,340
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	327	112,228	△22,245	△14,558	△1,253	74,499	△129,417	△54,917

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル メディア 事業	エンタープ ライズソリ ューション 事業	ナレッジ マーケット 事業	多言語CRM 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	82,585	307,543	32,964	159,724	582,817	—	582,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	750	—	—	750	△750	—
計	82,585	308,293	32,964	159,724	583,567	△750	582,817
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	137	150,955	△11,535	6,116	145,674	△123,934	21,739

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

営業アウトソーシング事業は、前連結会計年度にて終了しました。